AnesRecord クイックガイド —— 使い方の流れ

症例は**複数を並行して記録できます**(ホームの Active cases から切り替え)。

段階	操作	ポイント
① 準備	ホーム → New Anesthesia → **Case Setup**	患者情報、麻酔関連情報(使用薬剤・用量など)、記録間隔などを設定します。 体重を設定することで薬用量が自動計算されます。
② 記録開始	Start Monitoring	グラフ記録が始まります。
③ 前投与	Premed	タップした時刻で記録されます。 時刻は記録済みのボタンを再タップ、または右上の **Records** から編集できます。
④ 導入	Induction	タップした時刻で記録されます(時刻の編集は前投与と同じ)。
⑤ 挿管(T0)	**Intubation**	**これより前の処置はマイナス時間として処理されます。** Anesthetic time は挿管〜抜管です。
⑥ 麻酔中	Vitals	前回値がコピーされます。
	薬剤名	Intra-op drugs に登録した薬剤が並びます。 長押しで用量を変更できます。
	CRI	輸液も薬剤として登録して使用してください。 流量の変更は Change rate、入力ミスの訂正は Edit を使います(Edit は最初から書き換わります)。
	Local block	Case Setup に入れたブロックから選んで記録します。
	Event	任意の出来事を記録します。
	Others	Case Setup で選ばなかった薬剤を選択・作成できます。
⑦ 抜管	**Extub.**	抜管後も時計は止まりません(再挿管・追加投薬に対応)。
⑧ 覚醒	End → **Recovery**	覚醒の記録、合併症のチェック、各種項目の最終確認ができます。 時計は動き続けているため、モニタ画面に戻ることも可能です。
⑨ 終了	Finish & Save Record	時計はここまで動きます。 終了時刻は Finish をタップした時刻です。 Finish が遅れたときは、Finish の前に Recovery の End time を実際の終了時刻に直してください。 **Finish 後は編集できません。** タップする前に時刻と用量を見直してください。
⑩ 記録の閲覧・出力	ホーム → Past records → 症例をタップ	経時グラフ・イベント一覧を表示し、PDF 出力・印刷ができます(JSVAS 麻酔記録用紙のレイアウト)。

安全に使うために

AnesRecord は薬用量の**計算補助**と麻酔中の**記録補助**のアプリです。薬剤の選択・用量判断・製剤の確認は使用する獣医師の裁量と責任で行います。

1. 薬用量は登録した数値のまま計算されます。検算をお願いします

アプリでできること	使用量は薬剤ライブラリ(**ホーム右上の錠剤アイコン → Drug Presets**)に登録した用量・濃度と、Case Setup の体重から自動計算されます。 初回起動時のライブラリはサンプルです(薬剤名＋sample)。 薬剤ライブラリとプロトコルは他の獣医師から受け取ることもできます。
生じうるトラブル	用量・濃度・体重・単位(mg と μg、/h と /min)の誤入力は、計算結果にそのまま反映されます。 **アプリは用量の上限・下限を判定しません。** 受け取った薬剤ライブラリ・プロトコルも、送り手の製剤・用量の前提のまま計算されます。
確認してほしいこと	**サンプルは自院の製剤に置き換えてください。** **薬剤の初回入力時、プロトコル変更時、薬剤ライブラリ・プロトコルを受け取った時は必ず検算をお願いします。**

2. 記録には飼い主名・患者名が含まれます。共有先の確認をお願いします

アプリでできること	記録は PDF と症例ファイル(.anesrecord)として、AirDrop・LINE・メール・Files など端末の共有先へ送れます。 PDF のファイル名には患者名が入ります。 **Share with a colleague**(薬剤ライブラリ・プロトコルの共有)には記録は含まれません。
生じうるトラブル	共有先を誤ると、飼い主名・患者名を含む記録が第三者に渡ります。 送った記録はアプリから取り消せません。 症例ファイルは暗号化されていないため、受け取った人は誰でも中を読めます。
確認してほしいこと	**記録を送る前に共有先を確認してください。** **記録の共有は自院の端末間に限ることをおすすめします。**

困ったとき

麻酔中にアプリが落ちた	記録は自動保存しています。 開き直して Active cases の**症例カードをタップすると再開できます。**
アラームが鳴らない	定時アラーム(Case Setup の記録間隔)は、**開いているモニタ画面の症例だけ**、挿管(T0)後に鳴ります。 **画面ロック中・他アプリ表示中は鳴りません。**
記録が見当たらない	ホームの Past records にあります。 端末の故障・買い替えに備えて **Backup & transfer** で書き出しておいてください。
Case Setup を別の端末へ移したい(自院内)	Case Setup 右上の共有ボタン → AirDrop。 受け取った側でファイルをタップすると Active cases に入ります。
薬剤ライブラリ・プロトコルを受け取った	受け取ったファイルをタップすると取り込みの確認が出て、薬剤ライブラリに追加されます。 登録済みの薬剤・プロトコルはそのまま残ります。
終了済みの症例を別の端末へ移したい(自院内)	ホーム → **Backup & transfer** → My other device → Case records (finished) をオンにして Export… → AirDrop。 受け取った側でファイルをタップすると Past records に追加されます。

有料機能:記録の持ち出し(PDF 出力・印刷・終了済みの症例の書き出し)だけが買い切りの有料です。記録・閲覧・薬剤ライブラリとプロトコルの書き出しは無料です。テスト配信版(TestFlight)では全機能をお使いいただけます。

本アプリの PDF は日本獣医麻酔外科学会 麻酔・疼痛管理委員会「麻酔記録用紙 rev1(2021)」(CC BY 4.0)を改変して使用しています。学会の提供・監修・推奨ではありません。詳細はアプリ内の License 画面をご覧ください。